

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 28 日
研究・研修課題名	がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師の資格更新および新規取得に係る必修研修会への参加ならびに認定申請
研究・研修組織名（所属）	島根大学医学部附属病院・薬剤部
研究・研修責任者名（所属）	玉木 宏樹（薬剤部）
研究・研修実施者名（所属）	玉木 宏樹、陶山 登之、渋江 理恵、長田 大河（薬剤部）

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果（ ）
該当者名（所属）	玉木 宏樹、陶山 登之、渋江 理恵、長田 大河（薬剤部）
学会名（会期・場所）、認定名等	日本医療薬学会 がん指導薬剤師（玉木宏樹） 日本医療薬学会 がん専門薬剤師（玉木宏樹） 日本医療薬学会 がん専門薬剤師（陶山登之） 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師（玉木宏樹） 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師（渋江理恵） 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師暫定認定（長田大河）
演題名・認証交付元等	日本医療薬学会/日本病院薬剤師会
取得日・認定期間等	日本医療薬学会 がん指導薬剤師（玉木宏樹） 認定日：2020 年 1 月 1 日 認定期間：2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日 日本医療薬学会 がん専門薬剤師（玉木宏樹） 認定日：2022 年 1 月 1 日【本年度更新】 認定期間：2022 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日 日本医療薬学会 がん専門薬剤師（陶山登之） 認定日：2020 年 1 月 1 日 認定期間：2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師（玉木宏樹） 認定日：2021 年 10 月 1 日【本年度更新】 認定期間：2021 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師（渋江理恵） 認定日：2018 年 10 月 1 日 認定期間：2018 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師暫定認定（長田大河） 認定日：2021 年 10 月 1 日【本年度新規】 認定期間：2021 年 10 月 1 日～正式認定通知日※ ※ コロナ禍における措置として、認定試験合格以外の全ての要件を満たす場合「暫定認定」となり、その後の認定試験合格をもって正式認定（がん薬物療法認定薬剤師）となる。
診療報酬加算の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有（がん患者指導管理料ハ、連携充実加算） <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

「がん指導薬剤師」、「がん専門薬剤師」および「がん薬物療法認定薬剤師」を更新あるいは新規取

得するには、日本医療薬学会と日本病院薬剤師会が共催する研修会（がん専門薬剤師集中教育講座）への参加が必須とされている。有資格者および新たに認定取得を目指す者で分担して同研修会に参加し、知識や技能の研鑽ならびに資格の維持や新規取得を目指すことで、当院におけるがん化学療法の安全性や有効性の向上を高める。

## ② 方法

がん専門薬剤師集中教育講座へ参加することで、資格の更新や新規取得に必要な単位を取得する。加えて、院内や薬剤部内で研鑽内容を活用するほか、後進の育成を行う。さらに本年度は、がん専門薬剤師の更新申請、がん薬物療法認定薬剤師の新規・更新申請を行う。

令和3年度がん専門薬剤師集中教育講座 web（オンデマンド配信）

配信期間：2021年11月1日～2022年1月7日（2021年12月28日より延長）

研修者：玉木宏樹、陶山登之、渋谷理恵（資格更新のため）、長田大河（資格取得のため）

日本医療薬学会 がん専門薬剤師更新申請：玉木宏樹

日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師新規申請：長田大河

日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師更新申請：玉木宏樹

## ③ 成果

がん専門薬剤師集中教育講座へ参加することにより、資格の更新や新規取得に必要な単位を取得することができた。また、既存の分子標的治療薬や殺細胞性抗がん薬、支持療法だけでなく、最新の治療や新薬、がんゲノム医療についての知識を習得することができ、部内教育等において後進の育成を行った。

本年度は、玉木が「がん専門薬剤師」ならびに「がん薬物療法認定薬剤師」を更新し、長田が「がん薬物療法認定薬剤師」の暫定認定を受けた。暫定認定はコロナ禍における措置であり、認定試験合格以外の全ての要件を満たす場合に認定される。なお、その後の認定試験合格をもって正式認定（がん薬物療法認定薬剤師）となる。これらの資格は「がん患者指導管理料」の算定要件であり、診療報酬の算定により病院運営に貢献することができるとともに、当院におけるがん化学療法の質向上に寄与することができる。